

令和6年度 法奥小学校 6 年生「森林・林業・木材体験学習」について

三八上北森林管理署は、10 月 17 日(木)、18 日(金)、23 日(水)の3日間、十和田市立法奥小学校の 6 年生 6 名を対象に「森林・林業・木材体験学習」を実施しました。

子供たちは伐採現場、木材加工施設、モデルハウスの見学を通して木が伐採されるところから実際に家として使われるまでの流れについて学習しました。

1日目は教室で、森林の役割や木材の利用に関する授業を行いました。子供たちは質問なども積極的に言い、メモを取るなどして理解を深めていました。

2日目は午前中に有限会社下久保林業の伐採現場に行き、木をチェーンソー、ハーベスタで伐採する工程を見学しました。20m以上ある樹齢約60年の大きなスギの木をチェーンソーで伐り倒すと、その大きな音に子供たちは驚いた様子でした。またハーベスタ等の高性能林業機械を近くで観察し、一人一人乗って操作方法を説明されるととても興味深そうに話を聞いていました。

午後は上北森林組合の木材加工センターに行き、伐られた木が丸太から板や柱などになっていく過程を見学しました。大きな音に少し驚いている様子でしたが、丸太が製材されていく様子を興味深げに観察していました。

3日目は、有限会社岩木建設の作業場とモデルハウスの見学を行いました。最初にかんながけの体験、ペン立ての作成を行いました。子供たちは大工さんのアドバイスを元に何度もかんながけをする中でコツを掴み、上手にかんながけをしていました。モデルハウスではそれぞれの樹種がこういった使われ方をしているのかなどの質問をし、木材の使われ方などに興味を示していました。

この3日間で木材の利用の大切さ、木が伐採され利用されるまでの過程、そこで働かれている方々への理解を深めることができました。

今回の学習において、ご協力いただいた林業事業体及び各企業に感謝申し上げます。



〔授業で積極的に発言します〕



〔ハーベスタを近くで見学します〕



〔上手にかんながけができてます〕



〔丁寧にペン立てを作ります〕